

今日の勉強を始める前にすべきこと
—テキストの学んだ頁まで読み直そう—

開倫塾

塾長 林明夫

Q 1 : 今日の勉強を始める前に、したほうがよいことは何ですか。

A : 素晴らしい質問ですね。今日の勉強の前にしたほうがよいことは、テキストの1ページからこれまでに学んだページまでを読み直すことです。

Q 2 : 具体的には、どうすればよいのですか。

A : (1) 今日、ある教科のテキストの25ページから勉強する場合はどうするか。その勉強を始める前に、これまでに学んだ1ページから24ページまでを読み直すことです。

(2) 今日、テキストの25ページから29ページまでを勉強したら、明日はどうするか。テキストの30ページから勉強する前に、1ページから29ページまでを必ず読み直すことです。

Q 3 : なぜ、そのようなことをするのですか。時間ばかりかかり、勉強が先に進まないのではないですか。

A : (1) 新しいことを学ぶときには、今までに学んだことがよくわかり、身に着いていたほうがよいと考えるからです。

(2) そのために一番よい方法は、テキストの1ページから前回学んだページまでを読み直すことです。

(3) テキストの1ページから前回学んだページまでを毎回読み直していると、内容がだんだんわかるようになります。すると親しみが湧（わ）いてきます。また、読み直すスピードもどんどん速くなります。

Q 4 : 学校の授業の前にもできそうですね。

A : (1) その通りです。学校の授業の前には、教科書の1ページから前回学んだページまでを、毎回読み直してください。

(2) きっと、その日の授業がぐんとわかるようになりますよ。

(3) 前回までに学んだことがよくわかり、よく身に着いていると、今回新しく学ぶことがよくわかります。

Q 5 : 受験勉強で用いる受験参考書やまとめ教材を学ぶときも、1ページから前回学んだページまでを、毎回読み直したほうがよいのですか。

- A : (1) はい。受験参考書やまとめ教材は、スミからスミまで完全に「理解」し、すべて「身に着ける」「定着させる」ことが大切です。
- (2) そのために一番有効で確実な方法は、1ページから前回学んだページまでを毎回読み直してから、その日に学ぶべきページからの勉強を開始することです。
- (3) 「受験勉強は、回数」です。受験参考書やまとめ教材を何回学び直すかで、合否が決まります。

Q 6 : 1ページから前回学んだページまで読み直しを、毎回続けるとどうなりますか。

- A : (1) 1冊のテキストや教科書、受験参考書、まとめ教材を、1~2時間で読み終えることができるようになります。
- (2) どのページのどの辺りに何が書いてあるかまで、すべて頭に入ります。そのため、スミからスミまでの「理解」「定着」が可能となります。
- (3) ですから、定期試験や入学試験などで高得点が期待できます。

Q 7 : 最後に一言どうぞ。

- A : (1) 授業ノートや過去問を解いたノート、まとめノート、間違いノートなど、自分で作ったノートも、1ページから最後のページまで繰り返し「読み直し」をすることをお勧めします。
- (2) 意味調べノートや単語カードも、1ページ・1枚目から最後まで繰り返し「読み直し」をすると、「ことばの数」をどんどん増やし、「語彙力」をどんどん高めることができます。
- (3) さらに言えば、少し難しめの本を読む場合、つまり、古典などの読書をする際も、1ページからの「読み直し」は役立ちます。スマホ・タブレット・パソコンの解説書を読むときも、1ページからの「読み直し」はとても役立ちます。
- ぜひ、試してみてください。

これは、高校・大学・大学院でも、また、社会に出てからも役立つ勉強の仕方、本の読み方です。一生にわたって役立つ勉強の仕方、本の読み方と確信します。開倫塾の塾生である間に、少しでも身に付けてくださいね。

2018年8月30日（木）8時53分